

愛媛県デジタル人材育成推進会議 令和5年度第1回会議 開催結果概要

日時：令和5年7月18日（火）14：00～15：30

場所：水産会館6階 大会議室

○議長あいさつ

- ・デジタル人材は情報分野だけでなく、様々な分野で必要とされている。一方で人材が不足しており、デジタル人材をいかに地域で育て、確保していくかということが非常に重要である。
- ・最近では日本の賃金が安く、アジアの国々の優秀な人材が来ないという報道や、数年後には、そういった国々の下請けになりかねないという報道を目にする。技術力をしっかりと持ったデジタル人材の育成というものがますます重要になる。

○デジタル人材育成・確保に関する県の取組状況等について

（県からデジタル人材の育成・確保に関する取組状況等について資料に沿って説明）

〔構成員〕 人材の採用について、「IT PLACE えひめ」や「ジョブカフェ愛work」等、県で取り組んでいる採用プラットフォームを活用すれば、企業としても人材採用にかかるコストを抑えられ、UIJターン採用の活性化にもつながるのではと期待している。

〔 県 〕 県でも人材育成・確保は、喫緊の課題として捉えており、中高生のような若年層に対し、愛媛で暮らしたり、働いたりすることのよさを伝えていけるような事業を、教育委員会とも連動しながら取り組んでいるところ。各種の取り組みは、引続き本会議等を通じて共有させていただきたい。

〔構成員〕 県内大学で実施しているIT基礎講座に関して、実施校が増えてきたこともあり、共通の教材やカリキュラムを作り、より効果的に学生に教えていければと思う。

〔 県 〕 本講座について、参加学生からも好評をいただいていると聞いている。県としても定型的にやるのではなく、課題をしっかりと検証しながら、いかに学生に伝えるかということとともに、効率化についても今後検討していきたい。

〔構成員〕 基礎的なところを共通化するという事は賛成だが、大学生にもなれば興味をもつと自分で勉強するので、学生の気持ちに着火するようなものを講座に取り入れると良い。

〔構成員〕 人材の確保について、今年は非常に厳しくなっており、県と県内大学との覚書によるデジタル人材の育成には非常に期待しており、IT企業は非常に欲しいと思う。

〔 県 〕 大学との覚書についてはカリキュラム等の検討を進めているところ。育成する学生の人物像として、地元への郷土愛や地元企業を知ってもらうこと等をポイントとしており、例えばインターンシップを通して地元企業を知ってもらう機会を設けることも検討している。

○その他の意見

〔構成員〕 スポーツでいう中高生の総体のようなものが、IT分野でもあるとよいと思う。

〔 県 〕 全国の大学等でプログラミングコンテストが開催され、多くの高校生が参加してい

たり、学習指導要領が変わり、大学入試の共通テストで情報が追加されたり、すべての高校生がプログラミング等の情報を学ぶ時代になっている。そのような状況踏まえ、県内のどの高校でも一定以上の指導ができるよう、情報の教員を対象としたセミナーや、生徒を対象にしたサマースクール、さらには生徒が開発したアプリを評価するコンテストも今年度から開催することとしており、高校生のスキルアップを目指していきたい。